

竹田まさる 市政報告

富山市議会
自由民主党
平成29年8月発行

ご挨拶

本年4月の富山市議会選挙に、皆さまの絶大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。あらためて、心より感謝とお礼を申し上げます。

この間、4月の組織議会を経て、6月定例会が(会期6月2日～20日)開催され、実質的な議員活動がスタートしました。二代表制の一翼を担い富山市の発展に全力を傾注するのはもとより、地元並びに南部地域の代弁者として皆様の声を市政に反映させることに精一杯力を尽くそうと、心を新たに議会に臨みました。

私は、6月定例会の一般質問にあたり、一括質問(60分)を選択しました。初陣の選挙後の質問ですから、当然のこととして、公約である(1)「選ばれる街」とやまの創造を質問にとりあげました。市長より明快な答弁をいただき、私の思いと同じであり「我が意を得たり」の感を深くいたしました。「共助・協働先進地とやま」宣言については、今のところ考えていないということで残念に思いましたが、市民の心意気が肝要だと確信していますので、これからも折に触れこの主張を続けようと思います。次に、同じく公約である(2)上滝線の市内電車乗入れをとりあげました。市長の基本的姿勢は、夢のある事業で重要な路線であるという認識です。開発駅のパーク&ライド駐車場の整備並びに月岡駅の駐車場拡大について、いずれも前向きに検討する。開発駅周辺半径500mの住宅等の農振除外について、基準を満たせば可能であるとの答弁を得たことは大きな収穫でありました。最後の質問は(3)月岡小学校特別教室エアコン設置についてであります。昨年実施した耐震診断にあたり基礎部分にひび割れ等が見つかったために、耐震工事が困難になり、それに伴いエアコン設置も不透明になったことを受けて、このような理不尽があってはならないと急遽質問をいたしました。結果、来年度には間に合わせるという答弁があり胸をなでおろした次第であります。

ここに、6月定例会を中心に「市政報告」をお届けします。今回、皆さまのご提案をいくつか質問に盛り込みました。今後も市政を取り巻く色々な課題に積極的に取り組んでまいります。是非皆さまの声をお届けください。ご支援をよろしくお願いいたします。



■問い合わせ先

富山市議会 自由民主党
〒930-8510 富山市新桜町7番38号
TEL 076-443-2152 FAX 076-431-6100

竹田勝事務所
〒939-8132 富山市月岡町6丁目21
TEL/FAX 076-429-1471
E-mail : mtakeda@pm.ctt.ne.jp

(一括質問)

1 「選ばれる街」とやまの創造について

(1) パートナースHIP並びに行政と市民の間の絆を深めることについて

市長：市政を担うにあたっては、住民の自主性、自立性を高めるとともに協働、連携が大事であり、行政への信頼、一体感の醸成、互いの絆を深めることは非常に大切である。

(2) 「富山らしさ」とは何か。「富山らしさ」と街づくりの関係、「シビック・プライド」の醸成方策について

市長：質実さと進取の気性などが「富山らしさ」そのものである。富山らしさを生かしたまちづくりが重要である。一人一人のクオリティ・オブ・ライフを高めることで、幸福感につなげる。「楽しい」「おいしい」「お洒落」が大切である。それには、シビック・プライドが大事で、富山市民の誇りと矜持を持ち、もっと自分を押し出すことでまちが輝く。

(3) 「共助・協働先進地とやま」の宣言について

(4) 地域と行政との共助・協働の現状評価について

市民生活部長：地区センター、地域包括支援センター等をきめ細かく設置し、フェース・トゥ・フェースの行政サービスを提供しており、この関係を維持することにより、今のところ宣言することは考えていない。地区センター等と自治振興会をはじめ地域の各団体との協働、連携も活発に実施されている。

(5) これからの自治振興会に期待する役割について

市民生活部長：行政と住民とのパイプ役に加え、一人一人が市政の担い手であるという意識の醸成、地域コミュニティの活力強化の面からも期待している。

(6) 介護予防・日常生活支援総合事業の進捗状況・課題・今後の展開について

福祉保健部長：本年4月、国の事業をそのまま移行した。国が示す訪問型、通所型の新サービスの提供については、平成30年度以降の導入に向けて、先行自治体の取り組みを調査するなど検討を始めた。

(7) 自主防災組織の進捗状況・課題・今後の展開について

建設部長：本年3月現在452組織、60.3%の組織率である。組織率よりも、災害時に対応力ある組織づくりが重要

である。昨年度、市が活動支援したものは、186組織で1万6千人の参加があり、避難誘導訓練等を実施している。課題として、未結成の地域がある、リーダー役不在、マンネリ化、若手未参加等があげられ、活動の継続とレベルアップが肝要である。

2 上滝線の市内電車乗入れについて

(1) 基本的姿勢、方針について

市長：中心となる重要路線の一つで、市内電車乗入れは夢のある構想。事業者の判断がスタートになる。近年の年間利用者数が125万人程度で、平成元年と比べると4割減少していることから利用者増と収支改善が必要である。

(2) 開発駅のパーク&ライド駐車場の整備並びに月岡駅の駐車場拡大について

都市整備部長：開発駅については用地確保が課題であり、必要性や効果を検証しながら富山地鉄と協議している。また、月岡駅の拡張について、隣地が富山地鉄の所有地であり拡張を検討する。

(3) おでかけ定期券のエリア拡大並びにいわゆる「団子」の創出、地域拠点の活性化について

都市整備部長：おでかけ定期券のエリア拡大は事業者の負担等もあり直ちには困難。地域拠点の活性化は図っていかねばならない、

(4) 地域拠点駅周辺の土地利用、線引き見直しについて

都市整備部長：一定の基準が満たされれば、開発駅周辺半径500m以内において農振除外をはかり農地転用が可能である。

(5) 新駅設置並びにパークゴルフ場建設について

都市整備部長：新駅設置には用地の確保が必要であり多額の費用がかかり慎重な判断が求められる。富山地鉄が設置を決めた場合、駅周辺の整備や設置費用負担などの支援を検討する。

市民生活部長：パークゴルフ場の新設については、昨年東部地区で開設したところで量的には充足しており調整して利用してほしい。

3 月岡小学校特別教室のエアコン設置について

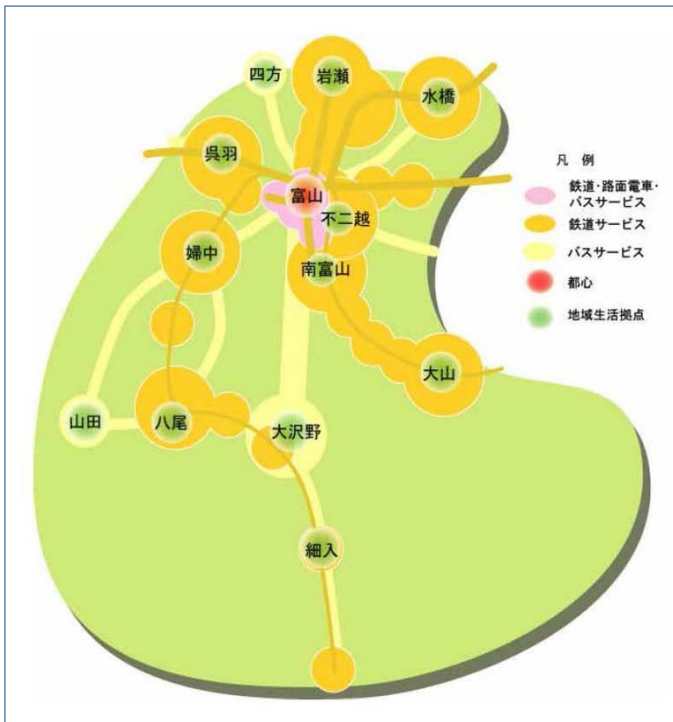
教育委員会事務局長：来年度に間に合うよう対応する。

富山市のまちづくりの基本方針 コンパクトなまちづくり

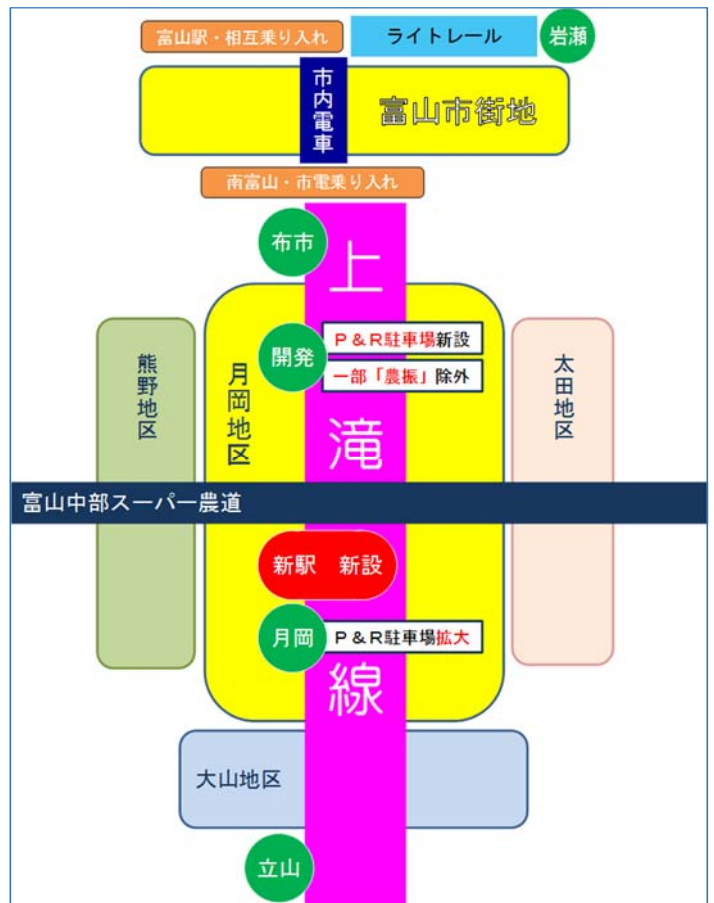
富山市が目指すお団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子：串で結ばれた徒歩圏



上滝線活性化イメージ図



駅駐車場の拡張検討

鉄道 上滝線 利便性向上を目指す

富山市議会6月定例会は9日、本会議を再開し、岡大庄、上滝の各駅に整備の必要性や効果を検証しながら、富山地鉄と協議していくとした。

富山地鉄整備部長は、これは富山地方鉄道不二越・都市整備部長は、これらの上滝線への活性化に向けて、月岡駅のパークアンドライド駐車場の拡張と、開発駅での新設を検討する。竹田氏の質問に高森長仁都市整備部長が答えた。

月岡駅では、既存の駐車場に隣接して富山地鉄の所有地があることから、この土地を活用した拡張を検討する考えを示した。

開発駅については、用地の確保が課題になり、4割減少したことを、指摘「まずは収支を改善し、富山地鉄が整備計画を検討することから議論がスタートする」と述べた。市としては、技術面の課題を探るとともに、路線の活性化に取り組むことで実現に向けてバックアップしていくとした。

富山地方鉄道不二越・都市整備部長は、これらの上滝線への活性化に向けて、月岡駅のパークアンドライド駐車場の拡張と、開発駅での新設を検討する。竹田氏の質問に高森長仁都市整備部長が答えた。

月岡駅では、既存の駐車場に隣接して富山地鉄の所有地があることから、この土地を活用した拡張を検討する考えを示した。

開発駅については、用地の確保が課題になり、4割減少したことを、指摘「まずは収支を改善し、富山地鉄が整備計画を検討することから議論がスタートする」と述べた。市としては、技術面の課題を探るとともに、路線の活性化に取り組むことで実現に向けてバックアップしていくとした。

富山市議会 一般質問

介護新サービス調査

てほしい。

酒井教委事務局長

竹田 勝氏 (自民)

耐震補強工事の際に取り付ける予定だったが、工事そのものが延期になった。来年夏までに設置する。

介護予防・日常生活支援総合事業の今後の展開は。

西田福祉保健部長

訪問型、通所型の新サービス開始に向け、先行自治体の取り組みを調査している。

月岡小学校の特別教室にエアコンを設置し

北日本新聞 6月10日 掲載

「開発駅」



画 小橋啓一



「月岡駅 パーク・アンド・ライド駐車場」

竹田議員の所属委員会

- ・ 総務文教委員会
- ・ 議会改革検討調査会
- ・ 富山地区広域圏事務組合議会

6月定例会において、総務文教委員会に付託された議案は、平成29年度富山市一般会計補正予算（議会事務局、企画管理部、教育委員会および財務部の各議案）、条例の一部改正等であり、加えて各種報告事項でありました。

それに関して、竹田議員の発言要旨は、以下の通りです。

(1) 豪州姉妹都市親善訪問事業費

オーストラリアのウエリントンカウンシルが本市の姉妹都市になっているが（平成4年8月 旧大沢野町と提携）、合併後12年を経過している、行政規模の相違が大きいことから再考する必要があるのではないか。

(2) 統合小学校跡地等活用事業費

アドバイザー契約により基本構想を策定する計画であるが、これ以外の調査・検討事業もコンサルタント契約が多い。本件は、本市独自で進めることができる事業であることから、庁内の英知を集めて実施することも考えていいのではないか。

(3) 中規模ホール整備官民連携可能性調査事業費

旧郡部における既存ホールの廃止の方向と整合性がとれるのか。逆行していないか。

(4) 学校施設の耐震化について

月岡小学校耐震補強工事について、今年度中に改めて整備方針を決定することになっており、1年かけて整備方針を検討するというが、時間がかかりすぎではないか。設計費を平成30年度当初予算で要求、平成31年度に工事着手になっても、当初計画から2年遅れ、その間、子どもたちは危険な校舎で学んでいることになる。早急に対処をしてほしい。

インターネットで公開

富山市議会ホームページで、定例会のインターネット中継を実施しております。生中継と、録画中継があり、録画中継は質問の4日後以降にアップされます。